



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address:〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan  
 Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)



## 主 題

国際協会会長	ケンワン・オン(シンガポール) “Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさしクラブ) “Act now with faith and love” 「信念と愛を持って行動しよう！」
西日本区理事	中井真一(奈良クラブ) “Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world !!” 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう !!」
六甲部部長	柳 敏晴 (神戸西クラブ) 「温故知新 Visiting Old, Learning Now !」
芦屋クラブ会長	田辺征一 「クラブを愛し楽しみ仕えあう」 (Love, work for and enjoy the Club, together )

## 今月の聖句

アブラムはサライに答えた。「あなたの女奴隸はあなたのものだ。好きなようにするがいい。」  
 サライは彼女につらく当たったので、彼女はサライのもとから逃げた。主の御使いが荒れ野の泉のほとり、シユル街道に沿う泉のほとりで彼女と出会って言った。

創世記 16 章 6 節～7 節

## 2月第1例会(留学生交流会)

とき: 2026年 2月 4日 (水) 18:00～20:00

ところ: 芦屋市民センター 116号室

司会: 濱瀬眞知子ワイス

1. 開会挨拶 田辺征一会長
  2. 留学生紹介
  3. 日本の文化 三味線を楽しみます 中島かおりワイス  
曲目: 黒田節・さくら
  4. 食前感謝 上野恭男ワイス
  5. 会食 ポトラック (ご馳走を楽しみましょう)
  6. 歓談 みんな仲良く!  
・留学生自己紹介 (有志)
  - ・ジャンケン勝ち抜き合戦 井島裕介担当主事
  7. 挨拶 留学生代表  
井島裕介担当主事
  8. 閉会挨拶 田辺征一会長
  9. 全員でお見送り・お別れ
- 引き続いて第2例会開催 20:10～21:10

会長	田辺征一
直前会長	柏原佳子
副会長	福原吉孝
書記	柏原佳子
会計	桑野友子
監事	上野恭男
担当主事	井島裕介
六甲部地域奉仕・環境事業主査	福原吉孝

2

Feb.,2026  
343号

## 「いのちのメッセージ」

会長 田辺征一



先日、「時をかけるテレビ」で2011年放送の「100歳いのちのメッセージ」が再放送されました。聖路加国際病院の日野原重明先生のドキュメントを追ったもので、“いのち”について色々学ばせていただきました。今から26年前になりますが、先生が立ち上げた「新老人の会」主催の講演で鹿児島に来られたとき、教会伝道集会のメッセージをお願いしたことがあります。歓迎・感謝夕食会でたまたま先生の隣に座ることになり、貴重な時を与えてもらいましたが、2枚の名刺をいただいた他は、何をお話ししたか残念ながら覚えていません。今回の放送で改めて先生の人となりと偉大さに触れました。

医者になりたての頃、初めて受け持った16歳の重症患者に「治さなければ」の一心でモルヒネ投与など亡くなるまで彼女の体に鞭を打ってしまったこと、彼女の境遇を思いなぜ安心して行きなさいと言って手を握ってあげなかったのか、その思いが先生をしてホスピス医療を立ち上げさせ、いのちの授業で170回以上全国を飛び回る原点となった。

1970年の赤軍ハイジャック事件で乗客は機内に4日間閉じ込められ乗客の一人であった先生は死を覚悟された。帰国後、静子夫人は「受けた大きな恵みの一部でもお返しする。与えられた大きな命を社会のために使ってほしい。」と言われ、それ以来、先生は妻がそばにいてくれるだけで生きる力を与えてくれる存在になっている、とのこと。

## 1月第1例会集計

第1例会出席 メンバー	例会出席率 出席者	BF切手 累計 gm
13名	13名	
1名	マイクアップ 名	
名	合計 名	
名	在籍者 17名	
1名	(内広義会員1名)	
15名	出席率 76.5%	
		11,560 円
		累計 75,870 円

→ 10歳で医師を志し26歳で最初の患者を見取り、以来4000人を見取られてこられた。「今、与えられている時間を使うかが大切で努力する。しかし、それにもいつかは終わりがある。その時、長寿を神に感謝するそれが最大の希望であり、祈りである。」と言われる。

番組の最後に、ゲストの柳田邦夫さんは「感謝の言葉を与えてから去っていけるのが理想的で最高です。肯定感をもって自分の人生を歩んだか見極めることが大切。今をどう生きるかは死をどう考えるかとイコールです。超高齢化社会では病気を否定するのではなく、プラス思考でとらえる必要がある。日野原先生の人生は毎年毎年が物語であり、先生が最後に書いた言葉『感謝』は自然体でした。」

## 1月第1例会(新春放談会)報告

日時：2026年1月21日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋

司会：田辺征一会長 (敬称略)

参加者：田辺征一会長・上野恭男・大澤二朗・柏原佳子・桑野友子・権甲植・島田 恒・堤 清・濱瀬真知子・福原吉孝・船橋知子(各ワイス)・大澤昌子メネット 井島裕介担当主事

ゲスト：北島恵子さん(クリスマス会参加者)

### 今年1月、ワイス初例会

新春初めの一言を、皆さまそれぞれに想うことを話され、笑ったり、思い出したり、うなずいて共感したり、……、楽しい語らいとなりました。

私は、芦屋神社での毎年の初詣について、一言、いや三言話しました。



我が家では、子供の七五三のお参りから受験祈願と、何かと手を合わせている氏神様です。

さて、その氏神様で、令和6年初めて‘凶’を引きました。翌年、又‘凶’を引き、この年はさすが、岡山はだか祭りで有名な西大寺で、引き直しますと、またまた‘凶’……、年始めにひく‘おみくじ’はあまり気も留めずに引いていましたが、さすがに急に気になりました。

今年令和8年なぜかおみくじを引くとき、ドキドキドキ、例年よりも御籤筒を、長くガラガラとふりました。おそるおそる番号をみるとなんと、1番、、、大吉です。

さあ～今年はいいことがありそうな予感です。

大吉は15%～30%、ちなみに凶はわずか0.7%だそうです。

1番札の大吉は、1本だけの幸運です。

このおみくじ、大切にお財布に入っています。1年間よろしくお願ひいたします。

濱瀬 真知子



### 「久方ぶりのダンス」

大学時代所属していた ESS クラブでは毎年クリスマスには京都市内各大学の ESS メンバーが集まり、ダンスパーティをしました。ダンスが初めての新入生は事前に特訓を受けて、ワルツ・タンゴ・ジルバなどを練習して本番に臨みました。しかし、私、卒業してからはダンスの機会もなく 60 有余年が過ぎ、今回のクリスマス例会を迎えるまでダンスの輪に入っていました。自分でも不思議と思うほどに体はリズムに合わせて躍動し、しばしカントリーに酔いしました。“三つ子の魂百まで”、あの時の経験が生きていることを実感した時でもありました。今年のクリスマスも楽しみにしています。

田辺征一



### 「最近思っていること…」

小生は、今期、六甲部 地域奉仕・環境主査の役割を拝命している。重要なきらりと輝くアート展の3月27日～29日、原田の森ギャラリーでの開催に向けて、各クラブの実行委員と検討会を行っている。

きらりと輝くアート展は、「障害のある方に作品を発表して頂く場を提供し、少しでも社会との繋がりが持てるお手伝いをしよう……」との強い思いで始めた六甲部の大を切な事業である。また芦屋クラブのメンバーである五十嵐メネットが推進役となり、西日本区から表彰された輝かしい伝統ある六甲部の大を切な事業である。

今回、芦屋クラブがサポートしている[みどり作業所]からも 10 点もの作品を提供して頂くことが決定している。芦屋クラブの実行委員の上野ワイス、書記の柏原ワイスより出展作品の確認などに、ご尽力を頂き大変感謝である。今後は、どれだけ多くの入場者をお迎えできるか、大きな課題である。

きらりと輝くアート展のチラシを活用して頂き、多くの来場者を迎える様に、しっかりとPRして頂きたいと思っている。

福原 吉孝

## 久し振りの例会参加

平素は芦屋みどり福祉会の福祉事業に協力いただき心から感謝します。芦屋みどり作業所では障害のある利用者さんたちが寒い中、毎日芦屋市内の公園や街路樹のお掃除を頑張ってくれています。そして、多くの市民の方から「ご苦労様」と言ってもらえるのが何よりも励みになります。1月21日(水)の例会に妻と一緒に出させていただき讃美をし、メッセージを聞かせていただき、ワイズの皆さまとの交わりを通じて、大いに励されました。又、当日はワイズの皆様からの尊い献金をいただきましたが、障害者福祉に使わせていただきます。

芦屋みどり福祉会 理事長 大澤二朗



久しぶりの例会参加で、親しく皆様にお交わり頂きありがとうございました。楽しかったです。毎日寒いですね、そんな中、みんなが元気に総合公園等の清掃作業に出かけています。がんばっているなあと思いつつ送り出しています。明日 2月13日(金)は保護者さん達が来てくださって、バレンタインのチョコレートをみんなにプレゼントしてくださいます。お礼に歌のお返しをする予定で今日も練習しました。みんなの笑顔がうれしいです。いただいたみどり基金、チャリティオークションの売上金心より感謝します。大切に使わせていただきます。

大澤昌子

## 新年早々、転倒して

人生初めて救急車のお世話になりました。寒い救急車内、転がされるように MRI の検査台、2 泊の入院、グルメではないが口が受け付けられにくい全部潰された食事、それでも助けられて生還できました。関係者のおかげで退院でき、元の生活に戻れました。いつ命が終わるかもしれない経験、皆さまへの感謝、今までにない経験でした。与えられている人生の日々を、感謝をもって生き、自分らしい歩みをしなければならないと改めて思われました。拙著の題名でもあったように誰でも生きている限り「人生は現役」、前向きに歩むべき新年の教訓でした。

島田 恒

## さくら祭り準備

4月5日(日)に開催される「さくら祭り」の準備の一つを進めます。申し込み用紙に参加する顔写真入りの証明書を貼り付けて提出します。



今年は、「みどり作業所」と共催します。車は1台のみしか入れませんので車体NOを登録します。ご協力よろしく! 詳しくは第2例会で打ち合わせをいたします。

上野恭男

## 1月第1例会の感想

皆さま、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。2025年4月から芦屋ワイズメンズクラブの担当主事となり、前担当主事の横山さんから引継ぎを受け、最初は戸惑いや不安で一杯でしたが、芦屋ワイズメンズクラブの皆さまが優しく接してください、仲間の一員になれてきたような気がします。芦屋クラブが掲げる「楽しくなければワイズじゃない」「クラブを愛し楽しみ仕えあう」という標題のとおり、楽しいイベントや交わりばかりでした。YMCAとワイズメンズクラブを繋ぐ、主事としてより一層皆さまのサポートをしていければと思っている次第です。

担当主事 井島裕介

## 中山豊美さま

明けましておめでとうございます。

豊美様には、すごく感謝の報告がありますのよ!

オークション(みどり作業所用)の中に私がとても気に入っていたイヤリング2個のうち、一つを堤ワイズが眼にとめられ、これは、金かもしれないと言われ、上野ワイズが鑑定をお願いし持って帰られました。

あの時、豊美さまに2個ほしいのがあるのだけれど一つがないのよ!とお話しした件です。あなたは、そんなの先に持って帰ればいいのにとおしゃってくださったのですが、オークションでいただこうと思っていました。

でもまさか金とは思わなかつたものが、鑑定の結果 60,000円の金の価格で戻ってきたそうです。私は、3日目に輪がかかったデザインが好きだったので潰されたことが残念でもあり悲しくもありましたが…豊美さまのお気持ちをこの1月例会でみどり福祉作業所にお送りできることになり幸いでした。♪

オークションは、時間が足りずあと7点は、そのまま柏原がお預かりしています。来年のクリスマスのオークションで楽しめたら素敵ですね! クッキーはちゃんと豊美様に届くよう取っておきますね!

本当はお会い出来たら嬉しいのですが!

柏原佳子



## 西日本区事業目標(各種献金)のお願い!

Yサ・ユース	2,700 円	BF	1,500 円
地域奉仕	1,000 円	RBM	500 円
TOF	1,000 円	YES	500 円
FF	300 円	合計	7,500 円

先日お渡しました封筒に金額を記入の上、提出ください。

## 会計より後期会費納入のお願い!

西日本区より後期会費の請求が来ております。後期会費未納の方は早急に納入下さい。尚、前期会費未納の方は併せて納入いただきます様、宜しくお願いします。



## 『聖句 読み説き』

女主人サライは子供を産むことが出来ず、女奴隸ハガルを側女としてアブラハムに与え子供を産むことを求めました。しかし身ごもったことによってハガルは女主人から辛くあたられます。又、アブラハムも問題を解決しようとせず女主人サライに女奴隸ハガルを一任します。アブラハムのするさの一面が見えます。しかしそこから逃げたハガルの前にあるのは不毛の荒野であり、それは逃げてきた女主人サライの家と同じ絶望を意味するものです。だけど、そんな絶望の時にハガルは泉で主の御使いと出会うのです。「創世記」において「主の御使い」と云う言いまわしは、特に神の臨在を表現します。「泉」と言うヘブライ語は「眼」という言葉と同意です。絶望の土地で命の水が湧き出す泉は「眼」です。「出会った」と訳された言葉は「見出す」と言う意味もあり「深く求めて見出した」と読むことも出来ます。神の望みを失った人、荒れ野に迷う人達を探し出される方なのです。荒れ野は社会にそして私達自身の心の内に広がっています。11節で神はハガルの子供の名前をイシュマエルと名付けます。ヘブライ語でそれは「神は聞いた」を意味します。私達が人生の荒れ野に迷う時、私達を見つけ出し、そして聞いて下さる泉は私達の中にはいるのです。孤独な時にあっても、さまよう時にも神は私達があらゆる意味に於て「身ごもっている」と告げています。それはあたし達の生活の中で私達一人一人は自分の中に与えられた希望の種を育てて行く勤めを与えられています。私達の人生を異なるものとして与えられたように私達が生み出していくものも違っているのです。「顧みて下さる神の眼」が常に私達に注がれている道を歩んでいきたいものだと今月の聖句は語ります。

権 甲植

## 1月第2例会議事録

日時：1月28日(水) 18:30～20:00

場所：芦屋市民センター204号室

参加者：田辺・上野・柏原・桑野・島田・堤・坂東・井島  
担当主事

### 議事・報告

#### ◆第1例会

- 2月4日(水) 1頁 プログラム通り  
留学生参加者人数 20名 芦屋は12～3名の見込み  
欠席者は@1,000円を諸費用に使用する  
☆20:00～21:00 第2例会 次期会長・主査以外の委員の選出および次々期六甲部部長選出
- 3月18日(水) 19:00～21:00  
チエアエクササイズでフレイル予防  
(講師：草山美佐子 NPO 法人元気運動協会)
- 芦屋川さくら祭り  
4月5日(日) 8:00～17:30  
芦屋クラブはチヂミ1枚500円のみ  
みどり作業所は綿菓子・おにぎり・ジュース

#### ◆その他

- 会計報告・承認
- クリスマス会報告・承認
- きらりと輝くアート展 実行委員会報告 福原主査

- 西日本区後期区費 2月15日までに会計より振込
- みどり作業所献金 年度末と年度初めに贈呈  
今回はクリスマスオーケションの売上げを贈呈
- 2027～2028期 六甲部部長 桑野友子(予定)  
芦屋クラブ30周年会長 上野恭男(予定)
- 「AYC(アジア太平洋地域ユースコンボケーション)2025」西日本区報告会  
日時 2026年3月15日(日)  
19時～21時※18時40分より入室可能  
ZOOMによるリモート会議形式  
登録方法【参加登録フォーム】  
<https://forms.gle/AqqPT828w9zEgyEP6>

書記 柏原佳子

## YMCA ニュース

### ■2025年度 神戸 YMCA YYY フォーラム



2026年1月24日(土)に2025年度 神戸 YMCA YYY フォーラム「若者にとっての居場所の意味～ユースワークの視点から考える～」を開催しました。YMCA職員をはじめ、ワズメンズクラブ六甲部の皆さまや維持会員の皆さま、また後援団体【特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会・特定非営利活動法人こうべユースネット・特定非営利活動法人ブレーンヒューマニティー・兵庫県青少年団体連絡協議会(敬称略)】の方々、総勢65名が神戸YMCA三宮会館のチャペルに集まりました。講師は文教大学准教授・東京YMCA評議員である「青山 鉄兵氏」を招いて、「若者の居場所」について講演をいただき、良き学びの時を持つことができました。青山氏の軽快なトークがあり、参加者は、チャット形式で講師と随時コミュニケーションを取ることができるもの魅力の一つでした。それぞれの役割について共有し、理解を深める機会となりました。関わった全ての人にこの場を借りて御礼申し上げます。

担当主事 井島 裕介

編集後記： ◆プリテン2月号が発行される頃には...  
が、既に衆議院選挙も自民の圧勝で終わり、ミラノ・コルティナオリンピックも始まり日本人の活躍に連日のTV観戦です。◆2月は28日、皆様の早い投稿を期待して、次号は3月初めには発行できるように頑張ります！  
◆立春、阪神間では春の陽気も感じられる日々です。  
身体を動かしてフレイル予防を！ 桑野友子